

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援あいすてつぷ		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日		令和6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月25日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援計画を基に、一人ひとりに合わせた支援を提供している。職員間でPDCAサイクルが確立されている。	・おさんごごとに療育指示書を作成し、毎月の目標に沿った支援を提供している。 ・支援の振り返りを行い、支援の結果がどうだったかを職員間で情報共有し、次回の支援方法を検討し実践している。	・支援の質を高めるために、研修や勉強会への参加。 ・支援に関する書籍や資料を充実させ、自ら学べる環境づくり、機会の確保に努める。
2	・保護者の方とのコミュニケーション、情報共有、SNSの発信などに力を入れている。	・送迎時や連絡帳での日頃のやりとりを大切にしている。事業所、家庭、園での様子を情報共有し、支援の内容に取り入れている。 ・定期的に子どもたちの様子をSNSやおたよりを通して発信している。	・保護者同士がコミュニケーションをとれる機会を作っていく。 ・送迎利用のご家庭とも、より密な連携を図れるように働きかけていく。
3	・プログラム、季節ごとのイベントが豊富。	・年齢やスキル別にプログラム内容を調整している。 ・支援目標に沿って、楽しみながら学んだり、課題をクリアしたりできるようなイベントの立案、季節行事を計画、実行している。	・保護者参加のプログラムを計画していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者が支援の様子を見る機会がない。保護者同士の交流の場がない。	・保護者参加の行事をしたことがない。 ・室内は子どもが過ごすスペースとして十分だが、大人が十数人見学できるほどの広さはない。 ・駐車スペースがない。	・保護者の方が自由に参観できる期間を設けて、来所する人数を分散させて実施できるか検討する。 ・保護者相談や、情報交換、保護者同士が集まって交流する機会を作っていく。
2	・駐車スペースが少なく、送迎時に混雑する。玄関の構造上、人の出入りがしにくい。	・駐車するスペースが明確ではない。 ・車の出入りを考えると、車を止められる台数が限られる。	・駐車する場所を保護者の方にわかりやすいように明確にする。 ・敷地内に止められなかった際の待避場所を検討する。
3	・戸外での活動の機会が少ない。	・園庭はないため、戸外活動は近隣の公園に行くことになるので、公園の使用状況や付き添い職員の人数確保が課題。	・公園の利用状況を午前、午後、曜日で確認する。 ・戸外での活動プログラムを年齢や課題別に分けて、分散して行っていく。